

令和元年度 基本事業評価シート（平成30年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 02 高齢者福祉の推進
基本事業 02 高齢者の介護予防の推進
主管課： 介護福祉課
関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
60歳以上の市民	健康づくりをする高齢者を増やす。 介護が必要とならない体力を保ち、自立して行動できる高齢者を増やす。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

介護予防に取り組んでいる高齢者の割合（％） 介護福祉課					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
76.60	77.00	75.90	76.30	76.70	77.00
向上指針	上がると良い	（状況）前年度比較で1.1ポイント減少しており、基準値よりも0.7ポイント低い状況です。 （原因）サロンやげんき館活動、シルバーリハビリ体操などの他に、認知症予防などの介護予防事業も実施しています。市民アンケートの結果、介護予防として、運動や口腔ケア、栄養、認知症予防などのために活動をしている人の割合が高い状況です。このようなことから、介護予防事業の一定の効果は出ているが、高齢者の増加に対して、介護予防を実施している高齢者数が上回っていないため、成果指標値が増加していないと考えます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

65歳以上の市民（第1号被保険者）で新たに介護保険認定となった割合（年間）（％） 介護福祉課					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
2.90	3.00	3.00	3.00	0.00	3.00
向上指針	下がると良い	（状況）前年度比較で指標値の変化はなく、目標に達しています。 （原因）後期高齢者の増加に対し、指標値が増加してない要因に、サロン活動やシルバーリハビリ体操など住民主体の介護予防事業や認知症予防活動など多様な取組みが一定の効果을 上げていると考えます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題とする				

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	0	0	0	1	1
人件費	8	0	92	0	0
トータルコスト	8	0	92	1	1

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

要介護認定者は、80歳代を超えると急増することや男性と比較し女性が多いことなどが分かっています。今後後期高齢者が増加していく中で、要介護状態になることを予防する事が重要となります。そのため、介護予防に対する多様な活動及び住民主体のサロン活動など社会参加の場に対する支援も強化することで介護予防事業の成果向上を図ります。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]